

先日は「てがたん」にご参加いただき、ありがとうございました。「てがたん」の観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧下さい。次回11月の「てがたん」は11月14日(土)で「カモいろいろ」がテーマです。是非ご参加下さい。

*市民スタッフの方へ 次回「てがたん」の下見&打ち合わせは**11月7日(土) 9時30分**からです。
よろしくお願いたします。

10月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館（企画展示室・友の会ルームで説明）→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2015年10月10日(土) 10:00~12:00 /曇り
- 参加人数 17名（一般13人、子ども4人）
- 市民スタッフ 12名（伊東茂子、大嶽若緒、岡廣志、蒲田知子、木村稔、小泉伸夫、寒江洋次、須貝基康、染谷迪夫、弘實さと子、松村定雄、保田行弘）
- 鳥博職員 1名（染谷実紀）

観察記録 — 10月に観察した生き物リスト —

【鳥類】

カモ科：カルガモ、オナガガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ/クイナ科：バン、オオバン/タカ科：トビ/カワセミ科：カワセミ/モズ科：モズ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

【両生類】 アマガエル科：ニホンアマガエル/アカガエル科：ウシガエル

【甲殻類】 ザリガニ科：アメリカザリガニ

【昆虫・クモ】

チョウの仲間：モンシロチョウ、キタキチョウ、ヤマトシジミ、ヒカゲチョウ/ハチ・アリの仲間：スズバチ/トンボの仲間：アキアカネ、ノシメトンボ、ウスバキトンボ/バッタの仲間：オンブバッタ、コバネイナゴ/キリギリスの仲間：ウスイロササキリ/コオロギの仲間：ツツレサセコオロギ、エンマコオロギ、コガタコオロギ、ハラオカメコオロギ、カネタタキ、マダラスズ、シバズ、クサヒバリ/クモの仲間：ジョロウグモ、シロカネイソウロウグモ

【花】

イネ科：チヂミザサ/ツユクサ科：ツユクサ/タデ科：ミゾソバ、イヌタデ、サデクサ/ヒユ科：シロザ、ナガエツルノゲイトウ/フウロソウ科：ゲンノショウコ/トウダイグサ科：エノキグサ/アブラナ科：タネツケバナ/ハエドクソウ科：トキワハゼ/ムラサキ科：キュウリグサ/ナス科：イヌホオズキ/シソ科：ホトケノザ、ヒメジソ/オオバコ科：オオイヌノフグリ/キク科：ヨモギ、ヒメジョオン、セイタカアワダチソウ、ノボロギク、ハキダメギク、タカサブロウ、シロノセンダングサ、アメリカセンダングサ、セイヨウタンポポ、オオジシバリ、ノゲシ、アキノノゲシ

【実】

ニレ科：エノキ/アサ科：ムクノキ/クスノキ科：シロダモ/ミズキ科：アメリカハナミズキ/カキノキ科：カキノキ/ヤマノイモ科：ヤマノイモ/アカネ科：ヘクソカズラ

10月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「渡る生き物」でした。

企画展示室で鳥の翼や飛翔について説明した後、カラスの仲間4種のお話をしてから、野外観察にむかいました。鳥だけではなく、昆虫の渡りについてもお話しました。モズの高鳴きがたくさん聞こえました。



今月の案内人：蒲田 知子さん 木村 稔さん



① 白や紫の色が目立つツバノウズキの花



② アキアカネのメスオスは赤みが強い



③ 夢中で草を食べるコブハクチョウの家族



④ ヤマノイモのむかご 試食してみると美味しいような美味しくないような



⑤ 「キーキーキーキー」とモズの高鳴き。顔の黒い線がはっきりしているオス



翼の形と飛翔についてお話しました。野外では観察しにくいところを標本で確認しました。



10月てがたんの観察生物とルート



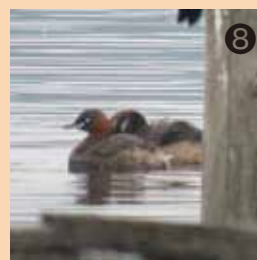
生き物の渡りについてお話しました。鳥の渡りについては絵本も紹介しました。



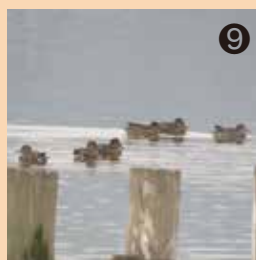
⑥ コバネイナゴ 成虫でも前翅が短く腹側が丸見え



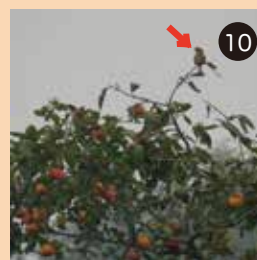
⑦ オオバンと一緒に数羽の若いバンが採食中



⑧ カイツブリの親子（手前が親）コガモと一緒に来たり



⑨ コガモの群れ 秋の訪れと共に手賀沼でも見かけるように



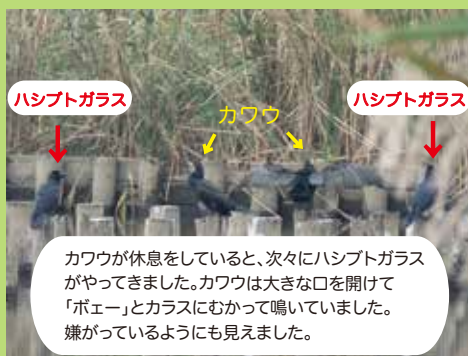
⑩ たくさんなっていた柿の実 よく見るとてっぺんにモズの姿が

今月の鳥 黒いカラスの仲間

カラスは身近な鳥の一つです。黒いカラスは留鳥としてハシトガラスとハシボンガラスが見られます。

近年、秋から春にかけて、もう2種類のカラスが見られるようになりました。ハシトガラスより少し小さなミヤマガラスとハト位の大きさのコクマルガラスです。ミヤマガラスは真っ黒ですが、くちばしの基部は羽がなく白っぽいのが特徴です。コクマルガラスはパンダのように白黒で（黒い個体は幼鳥と言われています）、鳴き声も「ミュ、ミュ」や「キュ、キュ」と言った特徴的な声です。

群れの中に複数のカラスがいることがあります。特徴を覚えて見分けてみましょう。



カワウが休息をしていると、次々にハシトガラスがやってきました。カワウは大きな口を開けて「ポェー」とカラスにむかって鳴いていました。嫌がっているようにも見えました。

観察したハシトガラス



ガイドの様子